

東京の中心、汐留で「美しき日本」に出会うアートギャラリーホテル  
アトリウム大壁面でのプロジェクションマッピングもみどころ

ART colours Vol.6 “YOKAI TOUR”

妖怪は悪いばかりじゃない！本当はあなたを守ってくれているかも？！

パークホテル東京（東京都港区東新橋 1-7-1）で行われる夏の展示、ART colours 第6弾は、妖怪をテーマにした作品が中心となる展示を行います。中には現代アートの不思議な作品や本物の妖怪さながらの立体作品などもあり、楽しめる内容となっております。妖怪というと、ゾッとする方もいるかもしれませんが、怖いものばかりではありません。6月3日（月）～9月1日（日）の期間、ホテルの各レストラン・バーでは、アート展示と合わせて楽しめる特別メニューをご用意。

さらにザ・ラウンジ（25F）にて「YOKAI デザート」をご用意し、夏にふさわしい遊び心をくすぐるメニューも用意してございます。

「アートを取り入れたホテルライフ」、モダンデザインのホテルで現代人の好奇心を刺激し、我々らしい美意識を体感いただけると幸いです。

アトリウムのアート展示は、『ART colours（アートカラース）・汐留で日本に染まる』をコンセプトに、心が満たされるひとときをパークホテル東京は日本の美意識（＝おもてなし）でご提供いたします。



西田弘英 Kohei Nishida 「song」2012年 φ290 mm

“ART colours”とは

ホテルの柱である空間（Atrium）、食（Restaurant）、旅（Travel）＝“ART”のシーンにおいて、四季を通じて日本のおもてなしを演出し、モダンデザインのホテルで現代人の美意識を刺激するライフスタイルを体感していただくためのアートプロジェクト。春夏秋冬の各テーマに合わせ、美術展示から関連イベントなど、トータルで感性を刺激する企画を同時遂行し、パークホテル東京でしか体験することのできないドラマティックな時間の共有を世界に向けて発信します。

## 『各種プラン・メニュー』の概要

### ◆Restaurant◆ ホテルが誇る日本人アーティストがART coloursのテーマで表現（期間限定）

#### 〔Bar〕

バル ア ヴァン タテルヨシノ（25F）カクテル「しゃぼん玉」  
細かな泡で表現された儂い女性像に、壊れて消える“しゃぼん玉”  
をイメージしました。

夏の暑さを和らげるシャボン玉にはカクテルに合わせてアロマの  
香りをマリアージュ。

期間：6/3（月）～9/1（日）

料金：1,500 円（税金・サービス料込み）



カクテル 「しゃぼん玉」

#### 〔Restaurants〕

花山椒（25F） アラカルト料理「おとし鱧」

鱧の旬、この季節にしか味わえない料理長の逸品をお楽しみいただけます。

\*ランチ、ディナー懐石コースに含まれます。

期間：7/1（月）～7/31（水）◆お席のご予約をされますよう、おすすめしています

料金：2,079 円（税金・サービス料込み）

レストラン タテル ヨシノ 汐留（25F） 「トウモロコシのエッセンス ジュレ仕立て」

【夜】コースのアミューズとして8,700円と11,500円（税金、サービス料込み）で提供致します。

期間：7/1（月）～7/31（水）

#### 〔Lounge〕

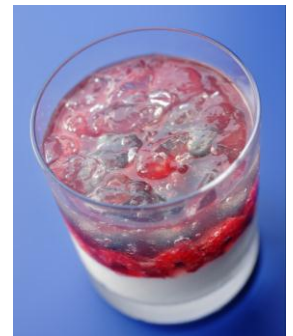
ザ・ラウンジ（25F）

「YOKAI デザートセット」

展示会にちなんだ趣向を凝らしたデザートにコーヒーまたは、紅茶がセットになっ  
ております。

1,800 円（税金、サービス料込み）\*喫茶タイム 14：00～17：00 提供可能

期間：6/3（月）～9/1（日）



YOKAI デザート

ディナー「ジャンボンペルシェ ハムとパセリのたっぷり入ったゼリー寄せテリーヌ」  
2プレートディナー3,200円（全2品コース/税金・サービス料込み）

期間：8/1（木）～8/31（土）

※メニューは仕入状況等により変更となる場合がございます。予めご了承下さい。

### ◆Travel◆ アーティストルーム 第2～4弾の作家決定！！

従来の客室を「アーティストルーム」に改装し、2013年2月より好  
調な販売を行っております。今後はワンフロアをアーティストフロ  
アとすることを目指し、本年末までにおよそ同等サイズの客室3室  
を増設するにあたり、3名の作家が決定されました。

秋葉生白さんが6月中旬に、「禅」をテーマに、その後9月から、モ  
ノトーンの木版画を使用したインスタレーションや、ファッション  
業界などで世界を舞台に活躍している竹之内直記さんが部屋の制作  
に着手。墨を使用し「龍」をモチーフにした部屋を阿部清子さんが  
12月中旬から制作し、今年の最後を飾ります。

詳細はこちらから

<http://www.parkhoteltokyo.com/cms/storage/1/1-230.html>



書家 秋葉生白さん

◆Atrium◆

～展覧会～

ART colours vol.6 夏 『YOKAI TOUR』展

【期 間】2013年6月3日(月)～9月1日(日) 11:30～22:00

(※期間中無休。ただし臨時イベントにより会場内入場の時間制限などを設けさせていただく場合もございます。)

【会場】パークホテル東京25F アトリウム

【出品作家】江戸期風俗画、池田俊彦、江本創、亀井三千代、大島哲以、西田弘英、馬籠伸郎

◆ 出品作品予定数 約23点

【協力】羽黒洞Hagurodo (<http://www.hagurodo.jp>)

【総合プロデュース】creativeunit moon (<http://www.mooooon.jp>)

《映像制作ユニット antymark による大画面映像》

会期中、作品をモチーフにした映像作品をアトリウム壁面の大型スクリーン(高さ約30メートル×幅約8.5メートル)で上映。プロジェクトマッピングに加え、SNS ツール(Facebook、ツイッター)などを用いたインタラクティブな演出を行う予定。詳細は後日ホテルHPにてお知らせいたします。

antymark (<http://antymark.com/>)

日本の夏の遊びに「肝だめし」というものがあります。昔から“背筋が凍る”、“肝を冷やす”など、驚いて震えたり、ひんやりしたりする様子を示す言葉があり、暑さをしのぐ娯楽として、怖い話やお芝居を見聞きして、涼しさを感じていたようです。中でも『妖怪-YOKAI-』は、人の知恵では理解できない不思議な現象や不気味な化け物として知られています。人を驚かしたり、いたずらをしたり、災いを起こすものとして恐れられていますが、ときに妖怪は、神と対になった存在でもあり必ずしも善悪で分けられない化身として、口伝えや、民話、漫画などに登場し、日本人にとって馴染みのある夏の風物です。今回のART coloursでは、江戸時代に描かれた化け物、現代作家西田弘英さんの、手描きとは思えないほど細かな泡で表現された女性像や、江本創さんが制作した妖怪のミイラなど、妖しいもの、儂いもの、楽しいもの、今までにない妖怪も発見できるかもしれません。人の目では見ることのできない姿を描いた作品たちを是非ご覧下さい。



馬籠伸郎「水の国」2009年 530×455 mm



西田弘英「Aphros series light and age」2012年 800×800 mm

## 『YOKAI TOUR』作家略歴

### 池田俊彦 Toshihiko Ikeda

1980年東京都生まれ 多摩美術大学油画専攻卒業、東京芸大大学院版画専攻修了、＜平成18年度文化庁買上げ優秀美術作品＞、「ドローイングとは何か」第1回＜グランプリ＞受賞など数多くの賞を受賞。現在、文化庁海外研修でロンドンに滞在中。

### 江本 創 Hajime Emoto

1970年兵庫県生まれ 筑波大学大学院修士課程芸術研究課修了。一見すると、実在していたのか、と錯覚に陥るほど存在感のある妖しい悪獣や幻獣を制作。大半部分を紙で制作している。

### 大島哲以 Tetui Oshima

1926年-1999年愛知県生まれ 日本の民話や民族様式をテーマに日本画を制作する。文化庁研修員としてウィーンにて幻想絵画を学び、帰国後第1回人人展に、創立メンバーとして参加する。

### 亀井三千代 Michiyo Kamei

1966年東京都生まれ 東京医科歯科大学にて解剖学を学び、そこから得た知識と、自身の中に生じた様々な想い、疑問と解釈、思想から生まれた結晶のような作品を制作、探究している。今回はこの『YOKAI TOUR』のために、新たなモチーフと素材に挑戦し、新作を制作。人人会会員。

### 西田弘英 Koei Nishida

1961年島根県生まれ 浄土宗僧侶。京都精華大学卒業。写真、感光乳剤を使った作品、またインスタレーションによる制作を発表する。生活の中で感じとった「弱さ」をテーマにし、繊細な表現が魅力。現在は、アクリル画による作品を制作。人人会会員。

### 馬籠伸郎 Nobuo Magome

1976年東京都生まれ 多摩美術大学大学院修士課程日本画専攻修了。一貫して日本の妖怪をテーマに制作。古来より伝承されてきた妖怪を、自身の世界に落とし込み、現代的な妖怪画を制作している。

パークホテル東京は2003年9月1日開業、ドイツ・ベルリンに本社を構える「デザインホテルズ」に東京で初めて加盟しました。画一的なインテリアやサービスを提供するのではなく、こだわりを持った、個性的で創造的なおもてなしを志しております。経済産業省が推進する日本文化を海外に広める「クールジャパン」事業のひとつである「CREATIVE TOKYO 構想」に賛同し、東京を盛り上げるクリエイティブイベントの会場提供などで大きな役割を担っています。また、日本最大のアート見本市、アートフェア東京2013のオフィシャルパートナーホテルです。

---

＜本件に関するお問い合わせ＞

パークホテル東京 マーケティング部 広報：早乙女、高橋

Email：[sotome@shibaparkhotel.com](mailto:sotome@shibaparkhotel.com) / [takahashi@shibaparkhotel.com](mailto:takahashi@shibaparkhotel.com)

〒105-7227 東京都港区東新橋 1-7-1 汐留メディアタワー

※ 不在や電話中のこともありますので、Eメールでご連絡いただくと助かります。

TEL:03-6252-1111(代) / 03-5470-7513(直) FAX: 03-6252-1001

---